

平成26年度事業計画書

公益財団法人山形県水産振興協会の平成26年度事業計画を次のとおりとする。

1. 基本方針

山形県の水産業発展の一環として、栽培漁業（内水面漁業を含む）の振興を図るため各種事業を実施する。

事業の実施にあたっては、公益法人としての使命を認識し、更に業務改善を進めて経営の健全性を高め、漁業者の負託に応じていく。

(1) 良質な種苗生産供給のため、山形県に継続的な指導をお願いするとともに、連携を強化する。

(2) 山形県との業務委託契約に基づく事業計画に沿って、栽培漁業センターではアロビ、ヒラメ、クロダイ、アユ、モクズガニの5魚種、サクラマス古寺ふ化場ではサクラマスの放流用種苗の生産供給を確実に実施する。

また、栽培漁業センターにおいては、経営基盤確立のため、アロビの養殖やアユ、アロビの放流用種苗及び増養殖用クロソイ種苗の生産供給を実施する他、東日本大震災被災地支援のためアユの種苗生産に取り組む。

(3) 内水面水産センターでは、適正密度飼育による良質な種苗生産供給のため、全面的に業務内容を見直す他、施設改修を進め、生産態勢の再構築を図るとともに、実需者の要望に沿ってニジマス、イワナ、ヤマメ等の増養殖用種苗の生産供給を実施する。

(4) 種苗生産にとって、初期に与える生物餌料のワムシの質が種苗の品質を左右するため、餌料価値が高くかつ効率的な大型のL型ワムシの安定培養技術の向上に取り組む。

また、貝類の種苗生産においても初期の生残、成長を左右する小型で餌料価値が高い付着珪藻の培養技術の向上に引続き取り組む。

一方、引き続きトラフグ及びイシガレイの種苗生産研究を進める他、低水温池での中間育成施設拡大のため湧水を使ったアユ種苗生産を実施する。

魚種毎の種苗生産マニュアルに則り、適切な栽培管理に取り組むとともに、疾病予防に関しては、防疫対策マニュアルに則り、未然防止のため迅速かつ適切に対応していく。

良質の放流用種苗を確保するためには、中間育成場の飼育管理が大事である。中間育成場の飼育管理技術向上のため、中間育成場の技術指導にあたる。

(5) 誰にでもわかり易いホームページとするため改良を重ね、ホームページによって本協会の役割や栽培漁業及び内水面増養殖事業の普及啓発を行い、県内の皆様方に栽培漁業の重要性を知らせていく。また、見学者及び研修生を受け入れ栽培漁業の重要性を啓発していく。

(6) 平成28年度に山形県で開催される全国豊かな海づくり大会を前に、山形県の指導のもと放流用種苗の生産態勢を確立する。

2. 事業計画

(1) 受託事業

(ア) 平成26年度 山形県栽培漁業センター管理運営業務

委 託 者 山形県庄内総合支庁産業経済部水産振興課長

委 託 料 123,735 千円

契約年月日 平成26年4月1日予定

内 容 栽培漁業センターの管理運営、水産種苗生産業務及び水産種苗供給業務。

(イ) 平成26年度 栽培漁業モニタリング調査

委 託 者 山形県庄内総合支庁産業経済部水産振興課長

委 託 料 66 千円

契約年月日 平成26年4月1日予定

内 容 ヒラメの栽培漁業モニタリング調査業務の中の市場調査。

(ウ) 平成26年度 山形県サクラマス古寺ふ化場業務

委 託 者 山形県知事 吉村 美栄子

委 託 料 17,275 千円

契約年月日 平成26年4月1日予定

内 容 サクラマス古寺ふ化場の施設管理、水産種苗生産・供給業務及びそ上系稚魚の放流を目指し、親魚確保、種苗の生産及び防疫対策に関する業務。

(2) 種苗生産・供給事業

[山形県栽培漁業センター]

(ア) 種苗生産・供給事業・・・・・・・・表-1

平成26年度山形県栽培漁業センター業務委託契約に基づき、表-1のとおり水産動物を生産し供給する。

(イ) 水産生産物売払事業

平成26年度山形県栽培漁業センターにおいて、自主事業として次の水産動物を生産し供給する。

魚種	大きさ(供給時)	生産時期	供給時期	生産数量	供給数量
アユ	全長55mm以上	4月	4月	420千尾	400千尾
	全長80mm以上	4~7月	5~7月	120kg	100kg
	全長10~15cm	5~9月	6~9月	6千尾	5千尾
	全長55mm以上	10~3月	2~3月	420千尾	400千尾
ヒラメ	全長80mm	5~8月	8月	9千尾	8千尾
アワビ	殻長25mm	4~3月	6~10月	180千個	160千個
	殻長70mm	4~3月	4~3月	24千個	20千個
クロソイ	全長30mm	5~7月	7月	180千尾	150千尾
トラフグ	全長40mm	5~8月	8~9月	24千尾	20千尾

(ウ) 栽培漁業技術開発事業

親魚養成、餌料量産、疾病防除および種苗量産等の技術開発を実施する。

(エ) 啓発普及

- ・関係団体との連携を図りながら、栽培漁業に関する技術の普及指導、啓発に関する活動を推進する。
- ・当協会のホームページを開設する。

[山形県サクラマス古寺ふ化場]

平成26年度山形県サクラマス古寺ふ化場業務委託契約に基づき、次のとおり稚魚、スマルト幼魚を生産し供給する。

(ア) 種苗生産・供給事業

次の魚種の生産・供給を行う。

魚種	種別(魚体重)	生産時期	供給時期	生産数量	供給数量
サクラマス	稚魚(2.5g以上)	4~7月	6~7月	620千尾	560千尾
	スマルト幼魚(20g以上)	4~10月	10月	8千尾	7千尾
	スマルト幼魚(20g以上)	4~3月	3月	25千尾	23千尾

[内水面水産センター]

平成26年度内水面水産センターの事業計画を次のとおりとする。

(ア) 水産生産物売払事業

次の魚種の生産・供給を行う。・・・・・・・・表-2

表一1 山形県栽培漁業センター 種苗生産・供給事業（県との業務委託契約に基づくもの）

魚種	大きさ（供給時）	生産時期	供給時期	生産数量	供給数量	備考
アワビ	殻長25mm以上	4～10月	4～10月	300千個	250千個	直接放流用
	殻長10mm以上	5～12月	12月	2.4千個	2千個	教育実習用
	殻長5mm以上	4～3月	27年度供給	300千尾	—	27年放流用
ヒラメ	平均全長40mm	5～7月	7月	180千尾	150.5千尾	中間育成用、教育実習用
	平均全長80mm	5～8月	8月	7.2千尾	6千尾	放流用
アユ	平均全長80mm	4～6月	5月、6月	2,450kg	2,040kg	放流用
	平均全長55mm	9～3月	2月、3月	2,730千尾	2,275.2千尾	中間育成用
	平均全長80mm	9～3月	27年度供給	400千尾	—	27年5月、6月放流用
クロダイ	平均全長50mm	5～8月	7月、8月	22.3千尾	18.6千尾	放流用、教育実習用
モクズガニ	平均甲幅7mm	5～10月	9月、10月	22.2千尾	18.5千尾	放流用

表一2 内水面水産センター 水産生産物売払事業

魚種	種別（供給時大きさ）	生産時期	供給時期	生産数量	供給数量	備考
ニジマス	稚魚（0.6～3g）	4～6月	4～6月	250千尾	234千尾	養殖業者用及び放流用
	成魚（80～500g）	4～11月	6～11月	650kg	550kg	河川放流用
ヤマメ (サクラマス)	稚魚（1～3g）	4～7月	4～7月	55千尾	40千尾	放流用
	幼魚（10～30g）	4～11月	4～11月	15千尾	13.7千尾	放流用
	成魚（80～200g）	4～3月	4～3月	1,100kg	1,000kg	放流、イベント用
イワナ	稚魚（1～3g）	4～7月	4～7月	165千尾	130千尾	放流用
	幼魚（10～30g）	4～11月	4～11月	15千尾	12.2千尾	放流用
	成魚（80～300g）	4～3月	4～3月	900kg	800kg	放流用